

令和3年5月26日発行



NEEDS 第1号



梅雨前の季節となりました。まだまだ、新型コロナウイルス感染症の影響があり、感染状況や日々の外出等にも気を配りながらの生活で、心配が大きいことと思います。今後の学校生活でも、適切な換気や健康状態のチェックなど、体調管理に十分気をつけていきます。

今年度は、連休明けから、進路選択や移行に向けた、高等部3年生の就業体験を開始できました。それぞれの生徒が事業所等で有意義な体験ができるよう事前学習を行い、気持ちもしっかり準備をして臨んでいきたいと思えます。就業体験に関しても、検温等健康チェックが必要となります。ご協力をよろしくお願いいたします。

進路指導は、進路選択や決定に関わることだけでなく、卒業後のライフスタイルを考えて指導を行うものです。「くらす」「はたらく」「たのしむ」の3つを柱とし、キャリア発達を基盤とした指導を教育活動全体の中で進めていきたいと考えております。

今年度も、「社会で活躍・サポート事業」を受け、接客やICT、ビルメンテナンス作業のスキルアップに継続して取り組んでいます。令和2年度からは介護分野への取り組みも始めました。今後も、医療、労働、福祉、事業所等と連携を深めて就労支援を強化させ、児童生徒の働く意欲や進路に対する意識を高めていきたいと思えます。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ご質問やご意見がありましたら、お気軽に各学部の進路指導課員まで声をかけてください。

【小学部】	三谷	しおり			
【中学部】	森脇	和美			
【高等部】	葉坂	佳彦	(進路指導課長)	切原	正文 (進路指導主事)
	磯部	真実子	藤田	彩菜	
【寄宿舍】	野宮	香織	梅本	直也	

令和3年度進路説明会 ~5月7日(金)~



今年度は、「本校の進路指導について～高等部での取組を中心に～」の説明と、「卒業生の今」と題した卒業生による講演を実施できました。

お忙しい中、保護者約34名にご参加いただき、進路担当者から、本校の進路指導の概要、福祉サービスの利用や新規の事業所について、雇用の状況、就労に向けた取り組み等の説明を行いました。

その後、「卒業生の今」と題して、令和2年度卒業生吉田伊織さんご家族（お

母さん・妹さん）様に，大変貴重なお話を聞かせていただきました。

吉田様（お母さん）からは，学生時代の思い出の写真をしながら，進路担当者との対話形式で，在学中の本人の得意なことや苦手なこと，在学中の福祉サービスの利用についてお話をいただきました。

就業体験を重ね，障がい福祉サービス事業所が決まるまでの流れについてもお話いただきました。また，障がい福祉サービス申請時や，かかりつけ医や年金申請時について配慮すべき点についてもアドバイスいただきました。

現在の事業所を利用することになり，卒業後の利用がスムーズに行った理由，在学中利用していた放課後等デイサービスの利用の経緯もお話いただきながら，生活を適応させていくポイントを教えていただきました。

また，妹さんからは，自身の成長とともに感じた兄の存在やかかわり，家族と過ごす時間の大切さ，将来の夢についてもお話ししてくれました。

お二人の話の中で，本人だけでなく，家族のそれぞれの幸せを考えながら，それぞれとの時間を大切にしたいとお話されていたのが，特に印象に残っていますし，貴重なアドバイス・メッセージだと感じました。ありがとうございました。

（－講演の様子－）



ご参加いただいた保護者の皆様が熱心にお聞きくださり，アンケートへのご記入もいただきました。「進路決定の流れが具体的に分かりました」「各障がい福祉サービスの違いが分かり，良かったです」等，ご感想をたくさんいただきました。（次ページで紹介します）

参加して下さった保護者の皆様，ありがとうございました。

【アンケートから】

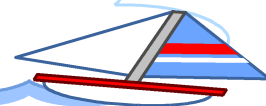


- ・吉田さんのお話、共感することや、参考になること、心打たれる事があり、貴重なお話が聞け、感謝いたします。
- ・卒業生のご家族の話は具体的でよく分かった。支援する側の声が聞こえるから。(困ったこと、対処の仕方)ここが一番知りたい部分でもある。
- ・卒業生本人の話も良いが、家族目線での生の声は嬉しいし、とても良かった。
- ・今就学中の目標を明確にすることが大切だと理解できました。
- ・これから(今日から)子どもの自立に向けて学校とデイ、一丸となって支援していくことに目標を置き、進路を決めていきたいと思いました。
- ・あまり身近に感じてなかったのだな、と現実感があつたように思います。うちは、兄姉が弟に対してあたりがキツイので、どうやればいいのか知りたいと思いました。
- ・うちの子も好きなことや趣味がなかなか見つからず、共感できた。
- ・吉田さんのお話がとても良かったです。妹さんの兄妹の話もとてもありがたかったです。
- ・卒業生のお母さん、妹さんのお話を聞いて、とても前向きになりました。
- ・「卒業生の今」ととても良かったです。妹さんのお話を聞くことができ、参考になりました。
- ・卒業生の保護者さん、妹さんの話を聞いて良かったです。
- ・デイサービス、何カ所か利用しておいたほうが将来のためになるのかな？
- ・卒業生の体験談を聞いたのが良かったです。
- ・卒業生のご家族の話聞くことができるととても良かったです。兄妹との関係が良好であることを感じる事ができ、有意義な時間でした。
- ・今回初めての参加でしたが、色々なことを知る機会となり良かったと思います。限られた時間の中ですが、ありがとうございました。
- ・吉田さんの話の中で、穏やかに暮らせることが大切だと聞かせていただき、大切にしていきたいと思います。
- ・吉田さんのお話は大変参考になりました。妹さんの意見がしっかりした意志を感じられて、うちも兄弟がいるので感動しました。
- ・我が子と同じような障がいの程度をお持ちの家族の方の話を聞いて、とても良かった。今までのこと、これからのこと、同じような悩みを抱えていることを知れ、考えさせられた。家族の幸せ、自分の幸せ、考えていきたいなと思った。
- ・貴重なお話を聞かせていただいて、ありがとうございました。兄弟児のことはとても気がかりですので、同じ立場の妹さんのお話が聞いて良かったです。

※説明会での資料は、2F進路相談室前の掲示板に掲示してありますので、ご覧ください。



Q & A (進路説明会アンケートから)



進路説明会後のアンケートの中で、質問が多かった内容にお答えします。

Q 1 : 就職する場合の賃金体制を詳しく知りたい。

A : 就職（就労継続支援A型含む）の場合、フルタイムや正社員採用の事例は少なく、ほとんどがパートタイム雇用でのスタートとなります。時間給×働いた時間数が賃金となります。時給は、徳島県の最低賃金（796円：R3.5現在）が適応される場合が多く、雇用時間4時間～6時間でスタートとします。採用後、働く様子を見ながら、時間数を延ばして行くケースが多くなります。

Q 2 : 紹介してもらった就労先以外、例えば、こちらから、「こういう仕事がしたい」など、希望があれば対応してもらえるのでしょうか？

A : 過去に就職した卒業生等が働く事業所での「業務内容」「就労時間」「必要な能力や適性」は進路担当が把握しています。就職を希望する生徒がいれば、希望する職種等まずは担任にご相談ください。その後、希望職種に該当する事業所を進路担当で検討します。本人の学習状況や居住区、通勤、環境等条件が合えば、就業体験を担任と相談し、それに向け、日々取り組んでいくようになります。準備ができれば、就業体験を実施する形です。

Q 3 : 生活介護について、もう少し詳しく知りたい。

A : 生活介護を利用するためには、障がい支援区分が3以上必要になります（入所支援を希望する場合は4以上）。また、介護給付のため、申請後に医師の意見書が必要となります。

生活介護は、知的障がい者は1カ所申請、身体障がい者は併用が徳島県では認められています。生活介護の事業所数が、特に身体障がい者対象の事業所数は少ないため、利用を調整する必要があるからです。一方、知的障がい者対応の生活介護は、利用者数が定員以上のところが多く、併用しているとサービスが平等に提供できないため、1カ所申請となっています。

生活介護事業所と一口に言っても、障がい種別によって受け入れに違いがあります。また、余暇や創作活動が充実した事業所、生産活動が特徴の事業所、お風呂等身体のケア・訓練を提供できる事業所、医療と連動した医療的ケアに対応する事業所と、幅広くあります。送迎を実施している事業所が多いですが、居住区によって等相談・確認が必要となります。

進路指導室前に各事業所パンフレットがありますし、個別に進路課担当までご相談いただければ、と思います。

今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、新しい事業所・サービスの情報提供、進路決定に向け、取り組んでいきたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。